

⚠ 使用上のご注意

内容をご確認頂き、杖（ステッキ）本来のご使用をお願いいたします

1. 身体にあった杖（ステッキ）をお選びください。不適切な長さのまま使用すると、事故等の原因となり危険です。
2. ご使用前には必ず各部の点検をしてください。万一、シャフト（杖本体）に破損、長さ調節ボタン、振れ止めネジの不具合等を見つけた際は、直ちにご使用を中止してください。また、杖先ゴムの摩耗・破損等の異状がある場合はすみやかに交換してください。
*本製品専用品をご使用ください。
3. 杖先ゴムがシャフト（杖本体）に確実に固定されていることを確認してからご使用ください。*杖先ゴムを外したままのご使用はお止めください。
4. 使用中もゆるみ等の異状がないか確認してください。
5. 上シャフトから下シャフトを完全に引き出さないようにしてください。振れ止めネジ内部のリングが外れる場合があります。
6. 長さ調節ボタンが確実に固定されたことを確認してご使用ください。
7. 握り先端に過大な力をかけないでください。（ステッキは歩行の補助用品です。全体重を支えることはできません。）
8. 柔らかな地面・雪路・濡れたり凍結した路面等、滑りやすい場所や不安定な場所でのご使用は危険です。また、道路の側溝等の溝やくぼみのある場所では、杖先がはまり込む恐れがありますのでご注意ください。
9. 用途以外（登山・護身用等）には使用しないでください。
10. お子様が遊び道具にしないようご注意ください。
11. ご使用後は水分・汚れをきれいに拭き取り、屋内に保管してください。高温・多湿な場所（ストーブのそば、夏場の自動車内での放置等）は、杖先ゴムが劣化する場合がありますのでお避けください。また、低温の場所（寒冷地等）では、杖先ゴムが硬化し滑りやすくなる場合があるため十分ご注意ください。

〈輸入・販売元〉



株式会社 竹虎®

〒246-0001 神奈川県横浜市瀬谷区卸本町 9279-69
商品に関するお問い合わせ 無料 0120-798-777
受付時間 / 平日9:00~17:00 通話
URL <http://taketora-web.com/> E-mail info@taketora-web.com

BJ-03

ヒューゴステッキ

取扱説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます

この杖は、“杖なしで自立歩行できる方”がより安定して歩行できるよう補助的に使用するものです。以下のような症状の方、またはこのような症状になった方は、ご使用をお止めください。

- ・杖なしでは歩行が困難な方（歩行に手すりや介護者を必要とする方を含む）
- ・リハビリ中の方（医師の指導のもとで使用する方を除く）

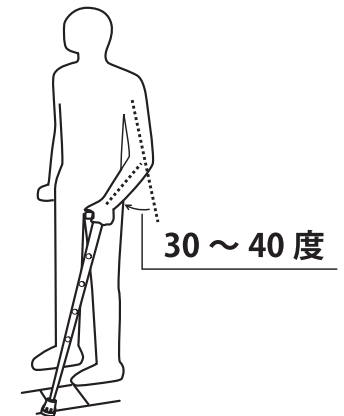
*本製品を正しくお使い頂くために、ご使用前に必ずこの『取扱説明書』をお読みください。

*内容をご理解頂き、記載の危険・注意事項をお守りください。

*この『取扱説明書』は、いつでもご覧いただけるよう大切に保管してください。

正しい長さの選び方

杖先を、足先の前外方 20cm に置き、肘の角度が 30~40 度になる長さが正しく使いやすい長さです。



前方外側 20cm



注意

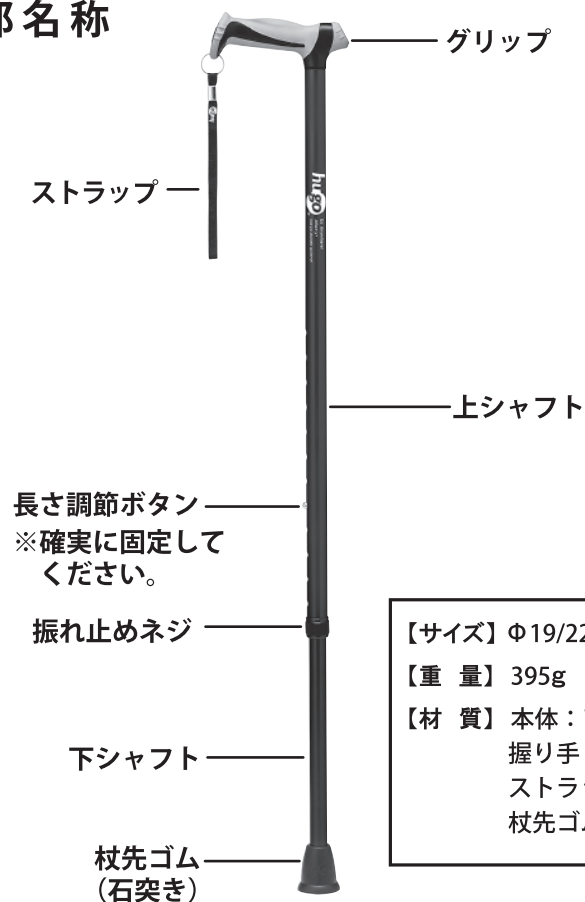
ハイキング・登山等には使用しないでください。



製品安全協会
安全基準合格品

- ・SG マークつき製品の欠陥により人身障害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて賠償措置が実施されます。
- ・SG マークの表示の有効期限は購入日より 3 年間です。
- ・SG マークのお問い合わせは
一般財団法人 製品安全協会 / TEL.03-5808-3300

各部名称



長さ調節ボタン
※確実に固定して
ください。

振れ止めネジ

下シャフト

杖先ゴム
(杖突き)

【サイズ】Φ19/22×H680～960mm(12段階)

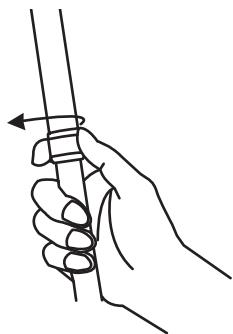
【重量】395g

【材質】本体：アルミニウム
握り手：TPR、PP
ストラップ：ナイロン
杖先ゴム：TPR

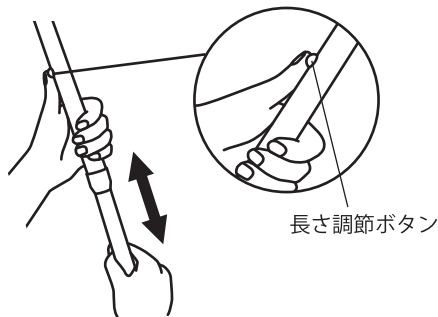
MADE IN TAIWAN

長さの調節方法

1. 振れ止めネジを時計まわりに回し、ゆるめます。

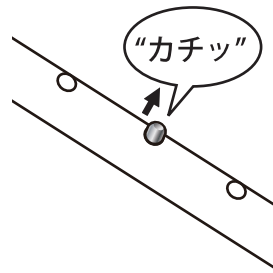


2. 長さ調節ボタンを指で押しながら下シャフトを伸縮させて、長さを調節してください。

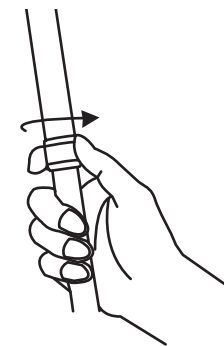


長さ調節ボタン

3. 長さ調節ボタンが“カチッ”と音がしたことを確かめてください。



4. 振れ止めネジを反時計まわりに回して締め付けてください。



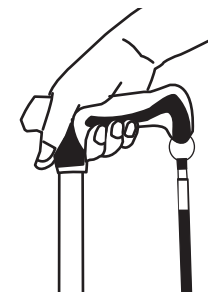
⚠ 注意

“長さ調節ボタン” および“振れ止めネジ” はご本人または介護者の方が確実に固定されているか必ず確かめてください。固定されていないと事故やケガの原因になり危険です。

グリップの正しい握り方

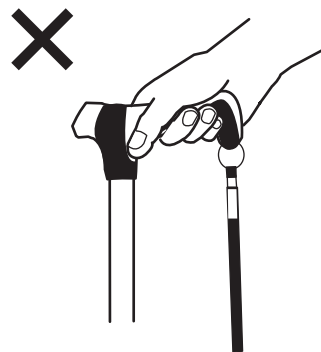


荷重



シャフトの真上に荷重がかかるように親指と人さし指でグリップを挟み込みます。

グリップ全体を包むように握ります。



⚠ 注意

グリップの一部分だけ握ると、荷重が偏りシャフトが折れてしまう危険があります。また、思わぬ事故の原因となる恐れもありますので、絶対にお止めください。